

ACOS 撤去について

長らく利用して頂きました当センターの汎用大型計算機 ACOS は平成10年2月の総合情報処理センター機種更新と同時に撤去することになりました。

従って、現在 ACOS をご利用の方は UNIX マシンなどに移行していただくことになりました。

また ACOS 内に消去したくない等のプログラムやデータのファイルがある方は ftp などを利用して owani8 や hakkoda などの UNIX マシンや利用者のパソコンに移行してください。

ACOS 撤去のはっきりした日程は決まっていますが平成10年1月末には利用できなくなります。

これから ACOS を利用したいと思って勉強していた方は UNIX やパソコンに軌道修正をお願いします。(まさかないとは思いますが…)

以下 FORTRAN プログラムの変換、ファイル転送について説明しますが、わからないことがあります。そのときは遠慮なくセンターまで連絡ください。

1. ACOS FORTRAN の移行について

ACOS では FORTRAN が一番多く利用されていました。UNIX マシンに移行して使用してください。

① JCL (ジョブコントロールステートメント) や RUN コマンドについて

バッチジョブには JCL を、TSS には RUN コマンドを最初の行に挿入してファイル定義や実行の制御をしていましたがこれらは UNIX マシンなどに移行して使うことはできませんので削除してください。UNIX の NQS コマンドやシェルを使うことになります。

② FORTRAN ソースファイルの変換について

ACOS FORTRAN ソースファイルは通常、行番号がありますが、UNIX FORTRAN は行番号がない標準書式です。

ACOS FORTRAN ソースファイルを UNIX FORTRAN に変換する場合は以下のように BEAU コマンドを使用して標準書式に変換してから送信してお使いください。

例：ACOS FORTRAN ソースファイル TESTP を標準書式に変換する方法。(下線はキー入力)

SYSTEM ?FRT7 OLD TESTP ← ACOS FORTRAN ソースファイル TESTP を呼ぶ

*LIST ← 内容確認

000010 DO 5 I=1, 10

000020 5 WRITE(6, 10) I, SQRT(FLOAT(I))

000021 10 FORMAT(I5, F10.5)

000030 STOP

000040 END

*BEAU ← 標準書式へ変換

*LIST ← 内容確認

DO 5 I=1, 10

```

5 WRITE(6, 10) I, SQRT(FLOAT(I))
10 FORMAT(I5, F10.5)
STOP
END

```

* RESA * ← 元ファイル TESTP に上書き保存する
TCMD536 I データをファイル TESTP にセーブしました
*

③ ACOS FORTRAN の組み込みサブルーチンについて

以下の ACOS 特有の組み込みサブルーチン使っているソースファイルは CALL 部分を変更する必要があります。

ATCALL, ATTACH, BCDJIS, BINHEX, CALLCD, CALLGC, CALLGT, CALLSS, CLOCK, CNSLIO, CONCAT, CARFL, CPTIME, CREATE, DATIM, DETACH, DVCHK, ERRANY, ERRCNT, EXIT, FCLOSE, FDEBUG, FDUMP, FILBSP, FILFSP, FLOATCNV, FMEDIA, FPARAM, FRANDI, FTERM, FXDVCK, FXEM, ANYERR, FXOPT, FXALT, HEXBIN, IRANDI, JISBCD, LOGIO, MVBITS, NASTRK, NOCALL, NTCALL, OVERFL, PTIME, RANSIZ, RBREAK, SETFIB, SETIME, SLITE, SLITET, SORT, SORTD, SSWTCH, TERMNO, USRCOD, YASTRK

また、ここではサブルーチンの名前を表示しませんが日本電気提供の数値統計計算ライブラリー MATHLIB, ASL を使っている方も変更する必要があります。

2. ファイルの移行について

ACOS 亡き後も使用する予定のファイルは ftp コマンドなどを利用してこれから使用する計算機に移行してください。

① TSS 標準ファイルへの変更

ACOS ファイルは TSS 標準ファイルと乱編成ファイル、索引編成ファイルなどがあります。TSS 標準ファイル以外のファイルはすべて TSS 標準ファイルに変更してください。TSS 標準ファイルとは TSS の LIST コマンドで画面にファイル内容が文字として確認できるファイルのことです。

② 磁気テープファイルについて

ACOS で利用していた磁気テープ装置は今後利用できません。大きいサイズのファイルは一旦 SHORT ファイルなどに入れてから ftp コマンドなどで他のマシンに移行し、必要ならば CGMT などに移動してください。この際、TSS 標準ファイルでないファイルは ACOS で TSS 標準ファイルに変更してから移行作業を行うようにお願いします。

③ ACOS FTP コマンドの操作方法

以下は ACOS 上で ACOS ファイル /WORK/WORK1 を test1 というファイル名で owani8 (ファイルサーバー) に送信する例です。(下線はキー入力部分です)

もちろん owani8 から受信してもいいのですが、漢字が含まれているファイルの場合は送信終了後コード変換作業をする必要があります。

SYSTEM ?catp /work ← カタログ (ディレクトリ) WORK へ移動

SYSTEM ?cata .,a ← ファイル確認

LIST OF CATALOG WORK ON 08/27/98 AT 13 : 38 : 53

WORK1 WORK2 WORK3 SORT1 SORT2 SORT3 SORT4 *

OWANI8

PR OWANI8Z HAKKODAZ AJARAZ PICASSOZ

SYSTEM ?ftp owani8 ← owani8 へ ftp 接続

Connected to OWANI8.

220 owani8 FTP server (UNIX (r) System V Release 4.2MP) ready.

(username) : test ← login 名入力

331 Password required for mikami.

(password) :

← パスワード入力

230 User test logged in.

ftp>site kanji euc ← ACOS 漢字が含まれているファイルを送信するときは
owani8 など unix マシンは euc、windows マシンは sjis
を指定する。

ftp>put work1 test1 ← ACOS ファイル work1 を owani8 ファイル test1 として
送信

200 PORT command successful.

150 Opening ASCII mode data connection for test1.

226 Transfer complete.

local : work1 --> remote : test1

69496 bytes send in 10.488 seconds (6.471 kbytes/s)

ftp>quit ← ftp 終了

221 Goodbye.

SYSTEM ?

3. その他の移行

ACOS の統計解析ソフト SPSS-X、DAISY、STATPAC やデータベースシステム DATA710 などパッケージソフトのシステム（データ）ファイル内データを今後も使いたい方は各ソフトウェアに TSS 標準ファイルにコピーする機能がありますのでそれを利用してファイルを作成し、ftp コマンドなどを利用して他計算機に移行してください。

また、N1 大学間ネットワークを使って情報検索やメールをお使いの方はインターネットに移行してください。現在は N1 ネットワークだけでこれらのサービスを行っているサイトはありません。